

競技注意事項

1 . 競技規則について

本競技会は、2019 年日本陸上競技連盟競技規則、本競技会の競技注意事項(本注意事項)および本競技会の申し合わせ事項により実施する。(参照:「要項 9. その他 (1)」)

2 . 受付について

- (1) ナンバーカードや大会プログラムの配布等の競技者受付は正面スタンド入口付近の競技者インフォメーション(TIC)にて行う。
- (2) 大会プログラムに記載の氏名や所属団体名に記載ミスがあった場合には、各日 8:30 までもしくは当該種目の競技開始 2 時間前までに競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。競技結果確定後の訂正(賞状や記録証明書の訂正を含む。)には一切応じない。なお、大会プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

3 . 練習について

- (1) 練習等は軟式野球場行うことができる。また、以下に定める時間の範囲内は駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場内で練習を行うことができるが、同時開催の TOKYO Combined Events Meet 2019 の出場競技者が優先となる。

練習可能日	練習可能時間
4 月 20 日(土)	8:00 ~ 9:30
4 月 21 日(日)	8:00 ~ 9:20

- (2) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所、指定された時間の範囲内で事故防止に万全を期し行うこと。ただし、競技運営の関係上、練習を一部制限することがある。
- (3) 競技会当日のトラックを用いた練習は以下のとおりとする。

種 目	練習可能時間	練習可能場所
中学 - 男子 110mH	4 月 21 日(日) 7:45 ~ 9:40	バック 7 ~ 8 レーン
中学 - 女子 100mH	4 月 21 日(日) 7:45 ~ 10:10	バック 5 ~ 6 レーン

※ 1 ~ 2 レーンは周回走行が可能な練習場設定とする。

※ 上記の内容は、競技会当日の状況により変更される場合がある。その場合は、担当の競技役員の指示に従うこと。

- (4) 各日とも、周回レースが行われていない時間帯はバックストレートを練習場として開放する。
- (5) 投てき種目の練習は、競技開始前に競技実施場所にて行うことができる。
- (6) サークルを用いた練習は、1 分以内とする。

4 . 招集について

- (1) 招集時間は競技日程に記載の時間による。

- (2) 招集所はAゲート（第4コーナー(100mのスタート地点))付近の競技場内に設置する。
- (3) 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 招集の際に、ナンバーカードに関する確認も併せて行う。なお、競技規則第144条3により競技区域内での所持や使用を制限されている機器や装置を持ち込むことはできない。

5 . ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、主催者が競技者に対して2枚配布する。
- (2) ナンバーカードは、配布されたままの大きさで胸と背につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸または背のいずれかにつけるだけでも良い。
- (3) トラック種目に出場する競技者には、腰ナンバー標識を2枚貸与し、競技終了後都度回収する。

6 . 用具について

- (1) 競技用器具の使用は主催者が用意したものに限る。ただし「やり」は、主催者が用意した投てき用具としてリストに記載されておらず、公式計測員の検査を受けて合格したものに限り個人所有のものが使用できる。なお、その場合は主催者で借り上げることとし、競技者全員が使用できるものとする。

(参照：「要項9. その他(5)」)

7 . 競技について

- (1) トラック種目の計時は、すべて電気計時(0.01秒)を用いて行う。
- (2) 競技規則第125条5あるいは、第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。
- (3) レーンを使用する競技では、安全のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走行すること。
- (4) ハードルの規格は以下のとおりとする。

種 目	高さ	台数	1台目まで	間隔
中学 - 男子 110mH	0.914 m	10台	13 m 72	9 m 14
中学 - 女子 100mH	0.762 m	10台	13 m 00	8 m 00

- (5) フィールド種目の試技回数は3回とする。(参照：「要項9. その他(3)」)
- (6) 砲丸の規格は以下のとおりとする。

種 目	重さ
中学 - 男子砲丸投	5.000 kg
中学 - 女子砲丸投	2.721 kg

8 . その他

- (1) 競技中に発生した傷害および疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。
- (2) 競技場内のスタンド下ダッグアウトからの助言等は禁止する。
- (3) 記録証は1部300円にて発行する。発行を希望する場合は、競技者インフォメーション(TIC)まで申し出ること。

以 上